

# 第 223 回 CARD セミナー

## 「マウスおよびラットにおける最新生殖工学技術」

日時:令和 2 年 2 月 8 日(土)14:00~16:00

場所:東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター

国際会議室(1 階)

所在地 : 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6

電話番号(受付) : 03-5440-9020

<http://www.cictokyo.jp/access.html>

\*アクセス:

JR 山手線・京浜東北線 田町駅から徒歩 1 分 都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅から徒歩 5 分

講師:竹尾 透、中川佳子、中潟直己

熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設(CARD)・資源開発分野

現在、ゲノム編集技術の発展により、だれでもが簡単に遺伝子改変マウスが作製できる時代になった。さらに、ラットにおいても遺伝子改変が容易となり、作製された遺伝子改変ラットの保存技術の確立が急務となっている。そこで、本セミナーでは、CARD で開発した「マウスおよびラットにおける最新生殖工学技術」について紹介する。

### 1 マウス生殖工学技術開発の最前線(竹尾 透)

私たちは、マウスリソースを効率的に利用するために、様々な生殖工学技術を開発している。技術者が生殖工学技術を最大限に活用するためには、各技術に関する基礎データが必要不可欠である。そこで本発表では、近年開発した超過剰排卵誘起法、精子、胚の冷蔵保存法および卵子の凍結保存法に関する基礎データを共有したい。

### 2 CARD 生殖工学技術を活用したゲノム編集個体の作製(中川佳子)

私たちは、効率的な遺伝子改変マウス作製法の確立を目指し、超過剰排卵誘起法や体外受精、受精卵の凍結保存などの生殖工学技術とゲノム編集技術を活用した個体作製を行ってきた。今回のセミナーでは、これまで報告した個体作製法を総括的に発表する。

### 3 ラット精子の凍結保存(中潟直己)

ラット精子の凍結保存は、2001 年に最初の報告が成され、それ以来多くの論文が発表されているが、ラット精子の凍結保存技術は、未だ確立の域に達していないのが現状である。最近、私たちは、凍結ラット精子を用いて、良好な受精率が得られる体外受精システムを開発した。本セミナーでは、ラット精子の凍結保存技術を中心に紹介する。

事前参加申込先(連絡先):高橋 郁 <[card-rep@kumamoto-u.ac.jp](mailto:card-rep@kumamoto-u.ac.jp)>